

# 育成だより

第9号

平成4年10月1日  
貝塚中学校区  
青少年育成委員会

## 平成4年度重点事業

### 健全育成標語看板を各町内に

#### 貝塚中学校全校生徒に募集・厳選

今年度は、子ども達に標語を作成し、標語看板の作製・設置を育成委員会の重点事業としました。標語看板については、六年前に設置したのですが、地域の青少年の健全育成に大いに貢献しているのはご承知の通りです。この看板も、標語を作った子ども達も成人式を迎えた者も多く、字が薄くなつたものや、破損したものもあり、この際に取り替えることにしました。今回は数を増やして、小型で設置しやすくし、各町内に一つと、駅、各小・中学校等に計

協力をお願いいたします。

標語は、貝塚中学校の全校生徒の作品の中から、総務会、拡大事業会により三十点の入賞作品を選出し、一路群馬サイクルスポーツセンターへ向いました。車中、皆助金等を充てます。

製作費は、既にご協力をいただいている各町内・自治会からの援金等を充てます。

小中学生、四十名余りの参加者は、早朝六時三十分都賀駅前を出発し、一路群馬サイクルスポーツセンターへ向いました。車中、皆ゲーム、歌等で楽しくすごして行きました。

昼食後子供達は、学年の枠をこえた班単位で思い思いのサイクリングコースへ飛び出して行きました。

施設へ飛び出して行きました。六班、変り種自転車で楽しんだ班等、それぞれ街中では味わえない

さる、七月二十三日(木)より一泊二日で貝塚中学区青少年相談員主催の、第六回サマーキャンプが晴天のもと群馬の高原千葉村で行なわれました。

二日目のお楽しみのオリエンテーリングに全員参加し、各ポイントを探すべく林の中へ散つて行きました。体力・時間・暑さとの戦いの中次々とゴールに到着した子供達の顔は、達成感で輝いていました。

### 貝塚中学校区青少年相談員主催

# 第六回サマーキャンプ



会・体育館で卓球、バスケットボール等元気一杯遊んでいました。

翌朝、さわやかな目ざめの後、

自転車遊びを体験しました。

高原千葉村到着後、温泉で汗を流し、全員で取った夕食は格別の味だった様です。

昼の疲れも見せず、夜は映写



## 子供達の笑顔と一言



オリエンテーリング出発前の相談中

● 群馬のサイクルスポーツセンターでの自転車遊びとても楽しかった。（男）

● 青少年自然の家の体育館でおもいつきり遊んだことが楽しかった。（女）

● オリエンテーリング大変だったけど、みんなで一緒にゴール出来てうれしかった。（男・女）

● このキャンプが二泊三日ならもっと良かった。（男）

今回のサマーキャンプ、子供達にとつて想い出深いものとなつたと思います。

田中育成委員会会長をはじめ、育成会・各小中学校の先生方の協力、ありがとうございました。



宿泊地・青少年自然の家で全員集合！



オリエンテーリング表彰式  
みんなよくがんばったね！

平成四年度  
貝塚中学校区青少年育成委員  
**千葉市長より委嘱される**

## 〔役員〕

会長	田中 信夫
副会長	高柳 信一
副会長	渡辺 愛
監事	梶原顕五郎
監事	永嶋 實

## 〔専務部会〕

会長	田中・信夫(自治会役員)
副会長	高柳 信一(自治会役員)
副会長	渡辺 愛(民生児童委員)
監事	梶原顕五郎(学識経験者)

## 〔非行対策部会〕

部長	梶原顕五郎(自治会役員)
副部長	房枝(青少年補導員)
副部長	永嶋 實(自治会役員)

## 〔レクリエーション部会〕

部長	関塚 昭男(自治会役員)
副部長	内山 英昭(自治会役員)
副部長	井上 公熊(自治会役員)

## 〔顧問〕

増田 栄司(県議会議員)
能勢 英惟(県議会議員)
松井 孝安(市議会議員)
千葉 通子(市議会議員)
小川 善之(市議会議員)
石橋 穀(市議会議員)
佐々木久昭(市議会議員)
田中 信行(市議会議員)

## 〔広報部会〕

部長	田中 研一(P T A)
副部長	中島 八重子(青少年相談員)
副部長	林 和子(青少年相談員)
副部長	安藤 征子(P T A)
副部長	吉岡 順子(学校教職員)
副部長	成毛 京子(子どもも会)
副部長	小畠 清子(青少年補導員)
副部長	重田 耕吾(自治会役員)
副部長	高橋 孝文(自治会役員)
副部長	石橋 作治(自治会役員)
副部長	原島福二郎(民生児童委員)
副部長	大塚 正秋(学識経験者)
副部長	中島 邦明(P T A)
副部長	鶴田 義男(体育指導員)
副部長	多田きよ子(学識経験者)
副部長	中川 秀之(体育指導員)
副部長	鈴木 邦子(子どもも会)
副部長	相馬美智子(子どもも会)
副部長	五十嵐京子(P T A)

## 〔福祉部会〕

部長	野村 啓二(自治会役員)
副部長	豊田 新六(民生児童委員)
副部長	飯田 貞介(民生児童委員)

部長	岡田 敬子(保護司)
副部長	新留 誠(P T A)
副部長	若竹 尚美(青少年相談員)
副部長	三輪佐知子(青少年相談員)
副部長	日置しづ子(P T A)

本年度は専門部の活動の活発化をはかるため大幅な編成替えが行なわれました。地域の方々のご協力ををお願いいたします。

部長	藤原 令迪(民生児童委員)
副部長	江村善五郎(自治会役員)
副部長	井桁 静男(自治会役員)
副部長	佐久間武(学校教職員)
副部長	森 靖男(学校教職員)

## 〔健全育成部会〕

部長	関谷 亮介(自治会役員)
副部長	安藤 寿(学校教職員)
副部長	石口 祐子(P T A)
副部長	遠藤 祐之(学校教職員)
副部長	飯田 貞介(民生児童委員)

## 〔交通安全対策部会〕

部長	藤原 直彦(学識経験者)
副部長	井桁 静男(自治会役員)
副部長	佐久間武(学校教職員)
副部長	森 靖男(学校教職員)
副部長	江村善五郎(自治会役員)

## 〔環境対策部会〕

部長	井桁 静男(自治会役員)
副部長	佐久間武(学校教職員)
副部長	森 靖男(学校教職員)
副部長	江村善五郎(自治会役員)
副部長	井桁 静男(自治会役員)

# 有害図書追放を推進



平成三年  
十一月九日、

貝塚中学校

に於て、千葉市青少年育成委員会

東部ブロック研修大会

が開かれました。

大会には、

加曾利、更科、若松、貝塚など七中学校区の父母・自治会・青少年育成委員約四百五〇人が集まりました。青少年を取り巻く社会環境の悪化問題について、地域ぐるみの活動・成果を話し合い、青少年の健全育成をめざしお互いの協力を確認しました。

来賓の千葉市教育委員会青少年

課 松本哲哉課長は、

● 学校・親・地域から見えない所での子供の遊びが増えている。

- 青少年の問題は源を考えると大人の問題もある。皆の意識を結集し、子供の幸を考えましょう

と結ばれました。

貝塚中学校区青少年育成委員会 田中信夫会長は、

等自動販売機の追放運動の推進 ● シンナー等有機溶剤が青少年

の手に入らないような環境作り

の追放運動について提案

● 十月二

十七日深夜、  
近隣で女子

中学生の誘拐事件があつたが、児童生徒の外泊や、夜間外出について

ても考えてほしいと要

動を実施しました。

● 夏休み

三名ずつ二班に分れて各町内会

盆踊りの見廻りと要保護世帯夏期

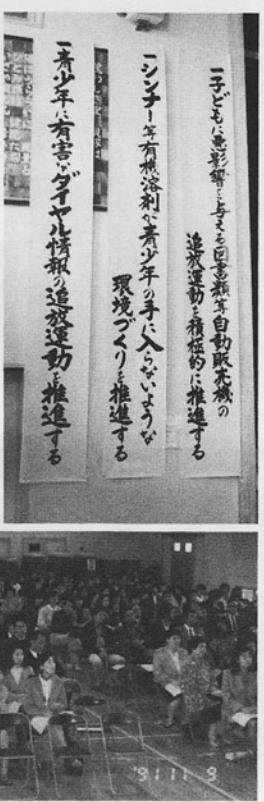
活動を実施しました。

● 冬休み

各地域の民生委員の方々に機会

ある度に生徒又母子家庭・父子家庭・独居老人の方に励ましの声をかける様御願した。 飯田 貞介

「子ども、映画館、音楽堂、自動販売機の  
追放運動を積極的に推進する  
環境づくりを推進する」



望された。

また「家庭の役割を考える」との演題で、県専修学校・各種学校協会会长 御園生隆氏の講演も行なわれました。「教育の土台は、よい家庭から、家庭は和らぎと、安らぎの場である。」と強調されました。

## 平成三年度育成委員会 専門部活動報告

### (福祉部会)

### 平成三年度育成委員会

慰問金配布のときに生徒の健康気を使い、生活の様子を観察した。

#### ● 夏休み

夏休み及び冬休みを学校と各地域の民生委員と提携して左記の活動を実施しました。

#### ● 冬休み

各地域の民生委員の方々に機会ある度に生徒又母子家庭・父子家庭・独居老人の方に励ましの声をかける様御願した。 飯田 貞介

各地区の民生委員の方々に機会ある度に生徒又母子家庭・父子家庭・独居老人の方に励ましの声をかける様御願した。 飯田 貞介



### 〔非行対策部〕

非行対策部の一番大きな活動である講演会を、今年も実施しました。今回は『子供達を非行から守る講演と映画の集い』と題し、八月一日に、六十余名の方々に参加して頂き、千葉東署の防犯課長を講師として、少年非行の実態や、その対策について講演して頂きました。今年は最後に懇談会を設けて警察の方との活発な意見の交換を行なつたりして、大変有意義な講演会であったと思います。

そして夏休み・冬休みには、学区のパトロールを三地区に分れて実施しました。特にゲームセンタ

ー・カラオケボックス・公園等を重点的に見廻りました。

戸村 直人

### 〔健全育成部〕

夏休み及び冬休みを重点に学区内の青少年のたまり場、盆踊り会場を先生方・PTAの役員の皆様と合同で左記の通り活動を実施致しました。

七月二十六日(金) 時間はいずれも午後四時～五時まで。

八月二十三日(金)

十二月二十六日(木)

七月七日(火)

実施方法につきましては、桜木町方面・都賀方面・西都賀方面を

三班にわかれパチンコ店・ゲームセンター・カラオケボックス・公園等たまり場と見られる個所を巡査を実施致しました。その結果全体的には良好のようでした。

### 〔環境対策部会〕

環境対策部として大事なことは犯罪防止上の対策ではないかと思います。

都賀方面からの通学路が狭いことと、冬の日照時間が短い時は街路灯が少く通学路が暗く危険ではな

かろうかと見受けられる状況であります。通学路の拡張と、街路灯の増設をし、安心して通学できる態勢作りをしたいものと思います。

忘れずにいたらと云うことが多く、初心者の時の気持を持続しなければと思います。

家族と同乗する機会の多い生徒さんに模範の運転を見せて上げて下さい。交通安全対策委員一同皆様の交通安全を祈っております。

榛沢 芳雄

### 〔レクリエーション部〕

毎年、恒例になっていますグランドゴルフ大会を、八月十八日(日)午前八時三〇分より貝塚中校庭で

青少年の手に入らないような環境づくりに、皆様方のご協力を心からお願い致します。

どうぞ、シンナー等有機溶剤が、

方々にも呼びかけ、この活動に取り組んでおります。

成し、町内各所に掲示して、地域

の方々にも呼びかけ、この活動に取り組んでおります。

大塚 正秋

### 〔交通安全対策部会〕

「歩行者の安全は運転手のマナ

ーにあり」と云うことで今年度も

貝塚中学校地区の地域の人々を対象に特別講習会を催しました。講

師のお話、映画を見るたびに事故はほんの少しの気の緩みからであることに気付かされます。ツバメの速さ、コウモリのテレパシーを兼ね備えていない人間には瞬時の機敏さは取れないことを自覚して

た。

二月二十二日(土)、二十三日(日)は、伊香保方面へ一泊二日の親睦研修旅行を実施いたしました。

残雪を見ながらの寒い季節でした。

けれど、バスの中や、皆さんの気持ちは非常に暖かく和やかに過ごせました。

今後共、多数の方々の参加をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

高橋 房枝



貝塚中学校長  
鈴木良太郎

学校も二学期より、月の第二土曜日が休日になります。

一時期、今の子供達の状況を箸の握れない子供とか、鉛筆を削れない子供などと話題にしましたが、これ等の状況を生み出してきた原因に、社会の変化にともなう子供達の生活時間の偏りがあります。

特に、家庭や地域での生活体験や地域行事への参加時間が大人を含め、極端に少なくなつたことが指摘されています。

心豊かな、地域に愛着を持つ子供達の成長のために、この休日の意義をふまえ、子供達が地域で安心して過ごせる機会や場所の確保が必要です。P.T.A.を始め、育成委員会および地域の方々の一層の協力をお願いします。



北貝塚小学校長  
安藤操

三位一体の子育てを  
わが国の教育の歴史では、明治

以来「学校依存型」(子どものことは、すべて学校におまかせ)が主流でした。

やつと最近、家庭教育の大切さと、地域ぐるみの健全育成の価値が見なされてまいりました。家庭・地域・学校がそれぞれの固有の教育力を發揮し、その三者の接点で手をたずさえ合うということです。家庭では基本的なしつけを、地域では子ども同士のつき合いの仕方を、学校では基本となる学力を、そして三者でもって、深いモラルの教育を。



桜木小学校長  
鈴木 幸男

#### いつしょに食事をして

三学期になって、私は六年生といつしょに食事をする機会を得ました。

子ども達、一人一人の夢を聞ける楽しみができたのです。  
「家の人あとをつぎたい」  
「自分の大好きなスポーツや芸能で生きたい」  
「ふつうのサラリーマンがよい」

一人一人が、自分の長所と結びつけて、将来を設計しているのに感心しました。  
だれにも負けない、光り輝くものにしてほしいという願いでいっぱいになりました。

前貝塚中学校長 藤井 忠

学校週五日制に関して市教育委員会は市内小中学生千名に「休みの土曜日をどのように過すか」の設問を含むアンケートを実施したところ約八〇%が「家でゆっくり過す」「家や家の近くで遊ぶ」と答えており「学習塾に行く」は小中共約五%になっている。子ども達の意識の上では「塾や習い事はもう十分」と考えている事が伺える。一方、公的施設での活動にはコンピュータやコンサートへの人気が高く、積極的に地域とかかわる意欲に乏しい結果がでている。子ども達の眼を地域に向けさせる為に、地域の方々が人生の先達としてその知力を生かし、魅力ある地域活動を促進する中に二〇才代の若い

力組織化して活性化を図る事も一方策ではないかと思う。



前北貝塚小学校長  
平野 静夫

#### 青少年育成委員会のご発展をお祈りいたします。

わずか二年間ではありましたが、北貝塚小学校在職中はいろいろとお世話をありがとうございました。地域の方々や仲間の先生方、

セセンターの嘱託として、青少年の電話相談を担当しております。

学区は、青少年育成委員会が悪書追放の実績をもち、交通安全や危険防止などの諸活動を田中会長を中心に行なっている学区であります。子供たちは、そういう地域の土壤に育くまれてのびのびと健全に育てられていました。家庭できちんと躾られて、学校の生活でも個人の生活でも、あたりまえのことがあたりまえにできる子供たちでした。

平成三年度、貝塚中PTA活動スローガンは、「人と人とのふれ愛を大切に」で、一年間活動して、各役員・各委員の方々による努力で諸行事が実行されました。そして同じ目的に向い、より一層、会員相互のふれ愛ができ、一年間が過ぎたように思います。

新年度最初の大きな行事で、バザーがあります。会員皆様方のご協力ですばらしいバザーができました。そして、バザーの収益金の一部、また学生達による募金活動によるお金を、雲仙普賢岳の被災者の方に千葉日報を通じて寄付をしました。この活動で保護者と子供達の大きなふれ愛ができたと思います。

平成三年度、貝塚中PTA活動スローガンは、「人と人とのふれ愛を大切に」で、一年間活動して、各役員・各委員の方々による努力で諸行事が実行されました。そして同じ目的に向い、より一層、会員相互のふれ愛ができ、一年間が過ぎたように思います。

## ふれあい募金

貝塚中PTA会長

高柳 啓一

ここに、会員の方々、先生方、地域の方々にご協力を感謝申し上げます。

## PTA活動

ジャズ『A列車で行こう』が始まり、ジャズを初めて聞く子供達にジャズについて簡単な説明の後「手のひらを太陽に」をジャズにアレンジして演奏をしてくれました。また『一〇一回目のプロポーズ』のテーマ曲『SAY·YES』や『愛は勝つ』等、話題になつていた曲などが演奏されました。全

## 親と子の ふれあい音楽会

桜木小PTA副会長

中島 邦明

曲終了後、子供達から拍手と共に『アンコール・アンコール』と声がかかるほど盛況に終わりました。準備の段階ではどんな音楽会になるか、どのくらい参加していた

本年度は、桜木小後援会の講演会に始まり、市P連第一ブロック講演会、青少年育成委員会の講演会と、短期間のうちに講演会が三回有りました。例年、本校PTAも講演会を行つており計画しておりましたが、講演会ばかり続きました。いろいろ案が出ましたので計画変更をすることになりました。いろいろ案が出ました。中心となり、校長先生はじめ諸先生方のご協力をいただき経費も予算化して行なっています。

北貝塚小 ふれあい広場

今年度も、六年生が仲良し農園にて、一年がかりで育てたサツマイモの会食をしたり、林間学校のビデオを見たり、フォークダンスをしたり、楽しい日を過しました。六年生も、収穫までの苦労も「ふれあい広場」の一日で楽しい思い出にかわった事と思われます。

だけるか、評判はどうであるかなど不安でしたが、五〇〇人余りの参加がありアンケートの結果も好評、思い切って計画変更して良い結果が得られました。

## ふれあい広場

北貝塚小PTA会長

田中 研一

北貝塚小ではPTA活動の一端として、四年位前から「ふれあい広場」を楽しんでいます。

学年の先生方、保護者の方々、子供達が楽しく、心のふれあい・コミュニケーションをはかることが目的としています。

各学年ごとに、学年学級委員が中心となり、校長先生はじめ諸先生方のご協力をいただき経費も予算化して行なっています。

先人の言葉  
で  
あ  
い

前生徒指導皆川 隆

小肉	小糖	多菜	多果	多鹽	多醋
小衣	小煩	多浴	多眠	小車	多步
小言	多行	小忿	多笑	小慾	多施
江戸時代中期の俳人横井也有の 言葉です。現代の我々が肝に銘じ なければならない言葉ですね。	横井也有やルソーの 言葉は現代 や近い将来の子育てや教育に、ど うしてかで反映させなくてはなりません	子える事だ。	子える事だ。	子える事だ。	子える事だ。

「横井也有やルソーの言葉は現代や近い将来の子育てや教育に、どこかで反映させなくてはなりませんね。」

「横井也有やルソーの言葉は現代や近い将来の子育てや教育に、どこかで反映させなくてはなりませんね。」

私達補導員は、中心街、地域、列車補導を行い、日帰り、一泊研修では、各施設訪問し感慨深く反省させております。

た……」一中学校的先生方はよく面倒をみてくれた、ありがたい……などなど、時代が移り、職員も毎年変わつてゆく中、いつまでも「我が良き母校、貝塚中」であるために、我々は頑張らねばならないと思う。

今年度の活動から

青少年補導員 小畠 清子

みなさん、こんにちわ、補導員になつて、たくさんの人と出会い、たくさんの事を学ばせていただいております。

今年度の活動から

青少年補導員 小畠清子

フランスの啓蒙思想家ルソーは、二五〇年前こんな事を言つたそうです。「あなたの子供を不幸にする事は簡単だ。何でも欲しい物を与える事だ。」横井也有やルソーの言葉は現代や近い将来の子育てや教育に、どう

横井也有ヤルソーの言葉は現代  
や近い将来の子育てや教育に、ど  
こかで反映させなくてはなりません  
んね。

生徒指導 遠藤 祐之

貝塚中学校

貝塚中学が創立して、来年はよいよい10年目を迎える。本校へ赴

委嘱後、補導前の研修、プロツ  
ク研修、関係機関団体との交流、  
他市との合同研修、県補導員大会、

相談員として面識がない人達と話していた。自分の相談員としての出だしはそんな程度であった。しかも貝塚中学区に相談員誕生の第1期目(全体では9期目)である。今考えると会長であつた伊藤さんはさぞ大変だつただろうと思う。しかしながらスタッフも素晴らしく、特に夏のキャンプの頃になるべく、しばしば夜遅くまで何回も打ち合わせが繰り返される。当然主

キャンプから帰る頃には相談員の顔には明らかに疲れの色が出ていて、そのままでは終わるアーミリー映画のラストシーンのように笑顔がもれている。「キャンプやつてよかつたなあー」と思うのである。

青少年健全推進大会、非行から守る県民大会などに参加、育成会においては諸行事に参加、自己研鑽に努めています。

政令指定都市に向って、各地区分室における補導もすすみ、九月・十二月・三月に月四回、朝昼夜巡回指導しております。今後共、皆様の御協力よろしくお願ひ致します。

### 相談員のキャンプを振返<sup>(リ)</sup>つて

青少年相談委員 戸村 一美

昭和61年ある知人に青少年相談員をやってくれないか、といきなり言われた。私自身聞いたことが無い、ハアー何ですかそれ!と思つていると同時にほつきり返事もしてないまま気がついてみると、相談員として面識がない人達と話していた。自分の相談員としての出だしはそんな程度であった。しかも貝塚中学区に相談員誕生の第1期目(全体では9期目)である。

今考えると会長であった伊藤さんはさぞ大変だつただろうと思う。しかしながらスタッフも素晴らしい、特に夏のキャンプの頃になると、しばしば夜遅くまで何回も打合せが繰り返される。当然主婦の立場の人が半分以上いたにとかわらず嫌な顔一つせず、皆さないのにその担当とか役が決まるのである。そんな打ち合わせが何日も続くある夜、主婦である相談員数人に聞いてみた「いつも何時に起きる」だいたい5時頃と答えたのです、しかもいずれの人も家庭のほかに職を持つている。ここまでするのにはなかなか容易ではないはずである。やはり素晴らしい人達である。そして相談員のメンバーが変わった(第10期)現在もそのパワーは生きている。お陰様でキャンプは6回、300人前後の子供達とふれあいを共にしてきたが、大した怪我も無く、皆無事で元気良く帰つてきている。そしてキャンプから帰る頃には相談員の顔には明らかに疲れの色が出ているのですが、子供達と思いつ出話をしている姿は、まるでハッピーエンドで終わるファミリー映画のラストシーンのように笑顔がもれている。「キャンプやつてよかつたなあー」と思うのである。